

12の地域ブランド支援モデル一覧





鯖江のめがね

【地域ブランドの概要】

鯖江は、日本製めがねフレームの90%以上を生産する日本一のめがね産地です。堅くて軽く金属アレルギーを起こさない「チタン」を利用しためがねフレームの開発に世界で初めて成功するなど、常に世界最高品質のめがねをつくり続けています。

【課題や目指すべき方向性等】

伝統と革新を併せ持ち世界最高峰のクオリティを誇る産地のポテンシャルを最大に活かし、ツーリズムや個社ブランディングなどに取り組み、世界に誇るジャパブランドを目指します。



信楽焼



【地域ブランドの概要】

信楽焼は、滋賀県甲賀市信楽町でつくられている陶器で、日本遺産「日本六古窯」の一つに数えられます。伝統的な信楽焼はこの土地特有の土味を生かし、薪窯焼成によって得られる緋色（スカーレット）の発色や自然釉、焦げの味わいが特徴です。優れた陶土や卓越した技術を基に、時代にあった製品や作品をつくり続けています。

【課題や目指すべき方向性等】

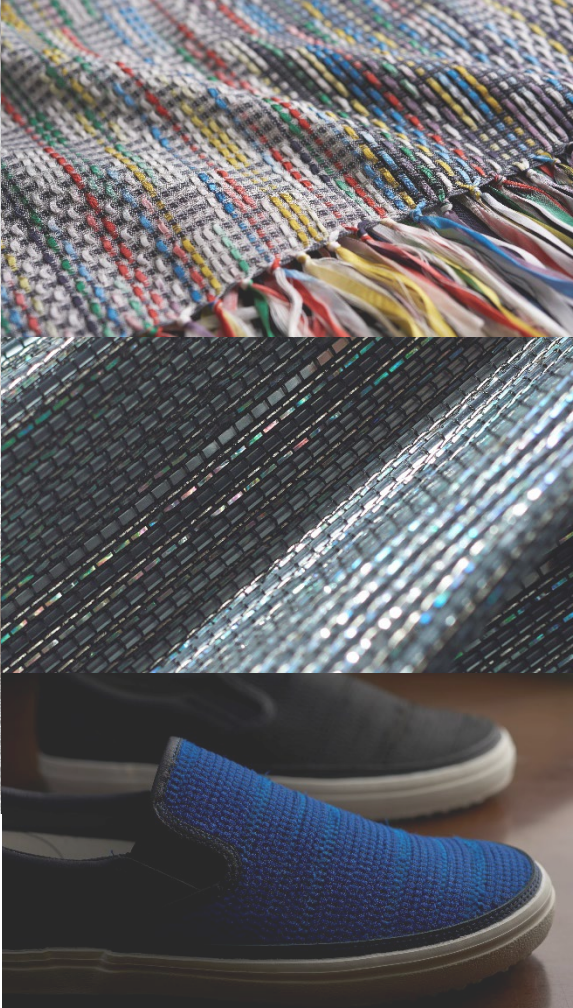
ツーリズムや他の地域資源とのコラボレーションにより、「信楽焼」のさらなるブランド化を目指します。



丹 後 織 物



TANGO° OPEN
TANGO KYOTO JAPAN



【地域ブランドの概要】

丹後産地では、シボと呼ばれる凹凸によって生み出される独特な風合いを持つ「丹後ちりめん」を製織しており、着物の後染用生地（表地）の生産量は全国の7割を占有、西陣帯などの先染織物の製造では生産量の大半を担うなど、和装文化を牽引できる織物産地です。丹後の織り技術を世界へ発信していくため、丹後ちりめんと共存するブランド「TANGO OPEN」を立ち上げ、丹後ちりめんの枠に留まらない多様なテキスタイルが製造されています。

【課題や目指すべき方向性等】

昨年2020年に創業300年を迎えた丹後ちりめんの技術を、和装に留めず他分野へ提案することで新販路開拓を目的に、ライフスタイル全域への商品開発にも挑戦を続け、ワールドワイドなブランド化を目指します。



和 東 茶

【地域ブランドの概要】

和東茶とは、和東町で栽培又は和東町在住の農家が生産する宇治茶です。地形が昼夜の寒暖差を生み、霧を発生しやすくします。霧の遮光効果は旨み成分であるアミノ酸を多く含む香気の強い茶葉が育ちます。和東茶は宇治茶の中の「親茶」と呼ばれ、味の決め手となることから古くから高値で取引されています。

【課題や目指すべき方向性等】

和東町の茶畑景観は日本遺産にも認定され、全国ここにしかない山なり茶園が町中広っており、この景観「茶源郷 和東」を含めた和東茶ブランドの発信をします。



泉州タオル



【地域ブランドの概要】

泉州タオルは約130年の歴史と伝統を誇り、日本のタオル発祥の地、泉州地域で生産されるタオルを指します。後晒製法で、織り上がった後に晒すことにより、吸水性にすぐれた、やさしい肌触りとなり、赤ちゃんや肌の弱い方も安心して使うことができるタオルです。

【課題や目指すべき方向性等】

店舗を軸とした情報発信や、普段使いの高品質なタオルをいかに訴求していくか、新たなブランド構築を目指します。



播 州 織



【地域ブランドの概要】

兵庫県のほぼ中央に位置する北播磨地域で生産される綿の先染織物です。様々な色に糸を染めてから、その糸で柄を織ります。播州織は、自然な肌触り・風合い・豊かな色彩を醸し出します。先染綿織物では国内生産の高いシェアを誇り、国内外のブランド等に提供されるなど、様々な製品に生まれ変わります。

【課題や目指すべき方向性等】

企画・デザイン/染色/織布/整理加工と生地づくりから販売まで地域内で完結するという強みを生かし、国内外へのブランドの発信と販路拡大に取り組み、「播州織」の知名度向上を目指します。



三木の酒米等

【地域ブランドの概要】

三木市は酒米「山田錦」の生産量が日本一であり、市内の一部地域が「特A地区」に指定される品質の高さも兼ね備えているため、多くの日本酒の原料に使用されています。他にも地場産業の三木金物や西日本一のゴルフ場数などの地域資源があり、それらを組み合わせながら市域全体のブランド化を進めています。

【課題や目指すべき方向性等】

複数の地域資源の組み合わせと広域連携によるツーリズム等の取組を通じたブランドの確立と、ターゲットを明確にしたインバウンドの取り込みを目指しています。



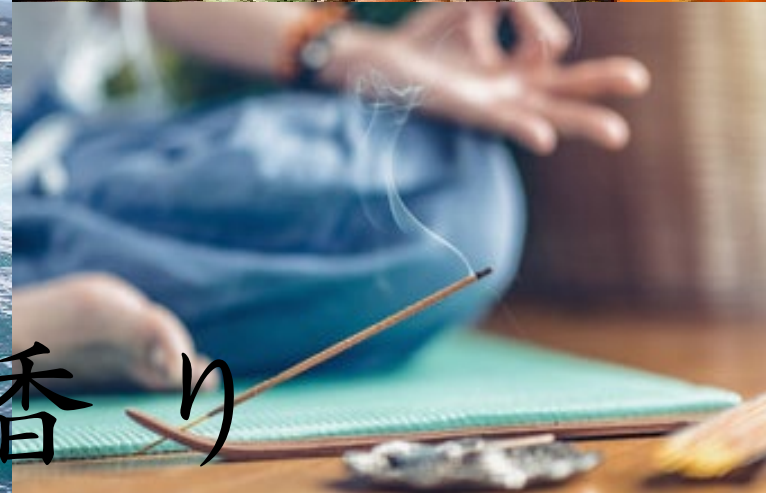
丹波篠山の黒大豆等

【地域ブランドの概要】

丹波篠山市は、豊かな特産物と自然環境や景観、城下町や歴史的な街並み、立杭焼きに代表される伝統技術と文化に恵まれています。中でも黒大豆は、300年以上前から良質のものが生産されています。粒が大きいのが特徴で、さらにうまみや芳香感、もちもちとした食感で高い評価を得ています。

【課題や目指すべき方向性等】

数多くの地域資源を結び付けたブランディングで国内外への魅力発信と来訪者の増加を目指します。



淡路島の食と香り

【地域ブランドの概要】

淡路島は御食国^{みけつくに}として古代から皇室・朝廷に海水産物を中心とした御食料^{みけりょう}を貢いだと推定される国のひとつです。また、国内最大の線香の産地でもあり、日本の「香り」文化を形成しています。淡路島の食（農畜水産物）と香り（線香）の品質の良さは国内外市場に通じるものとして、更なるブランド力の向上を図っています。

【課題や目指すべき方向性等】

国内外からの来島者の五感と知的好奇心を満たす魅力ある淡路島ブランドの発信と海外販路拡大を目指します。



奈良酒

【地域ブランドの概要】

清酒発祥の地と言われる奈良では、奈良県酒造組合加盟の28の酒蔵があり、奈良の豊かな自然環境の恩恵を受けながら、それぞれの蔵元が独自の特徴を持ち、創意工夫や杜氏の伝統技術により様々な清酒が製造されています。

【課題や目指すべき方向性等】

清酒発祥の地と言われる歴史を活かした「奈良酒」としてのブランド発信や国内外への販路拡大を目指します。



広陵くつした

【地域ブランドの概要】

広陵町は、古くから靴下の生産が盛んで、製造に関わる全工程をワンストップで行うことができる「靴下の町」であり、全国有数の生産量を誇ります。町内で製造される靴下は、素材・品質はもちろん、デザイン・機能性にもこだわっています。

【課題や目指すべき方向性等】

「広陵くつした」の知名度を高め、国内外への販路拡大を目指します。

和歌山ニット

【地域ブランドの概要】

明治から令和と5つの時代を股にかけ、丸編ニット生地生産国内1位を誇るニットの総合産地として、その歴史の「糸」を紡いできた和歌山のニットは、非常に風合いがよく、高級ブランドのOEMはもとより、近年では各工場がそれぞれの強みと特徴を活かしたファクトリーブランドを立ち上げる動きも進んでいます。

【課題や目指すべき方向性等】

「ニット生地」産地に留まらず、「ニット製品」産地としてのブランド構築を目指します。

